



2020年7月21日

報道関係者各位

特定非営利活動法人 Being ALIVE Japan
慶應義塾体育会野球部

**新型コロナウイルス禍で、慶應義塾体育会野球部が実現する新たな長期療養児の「青春」
8月4日(火曜)に新たに入団する長期療養児の入団式を開催！**

特定非営利活動法人 Being ALIVE Japan(ビーイング アライブ ジャパン 本社:東京都世田谷区、理事長:北野華子 以下「Being ALIVE Japan」)は2017年11月より、長期治療中の子どもがスポーツチームへの入団を通して、長い療養生活をチームで支える自立とコミュニティ創出する事業「TEAMMATES(チームメイツ)」を提供しています。

この度、慶應義塾体育会野球部に3人目となる長期療養中のお子さんの入団が決まりました。今回、入団するお子さんは来年6月までチームの一員として所属し、チーム活動に参加します。また昨年入団し、現在入院治療中のチームメイツ、田村勇志くんも引き続き、退院から復学の過程を今年12月まで支援していきます。

8月4日(火曜)11時半より、下田グラウンドにて、入団式を開催致しますので取材をいただけますと幸いです。本取り組みにより、長期療養を必要とするお子さんの可能性の幅を広げる選択肢や繋がりが地域社会の中に増え、復学や進学支援に繋がればと考えております。また当事業を通じて、大学スポーツの振興促進や大学アスリートが競技のみならず社会貢献活動に参加する機会が増えることも期待しております。



ユニフォーム贈呈



契約書の署名



全体集合写真



直接取材

2020年7月に当団体では「新型コロナウイルス禍における活動ガイドライン」を策定し、活動に関わる選手、チーム関係者、団体スタッフに共有、及び感染拡大を防止する行動に関する研修を実施した上で今回、活動を再開する運びとなりました。新型コロナウイルス禍で、長期療養中の子どもたちの外出や社会参加がより困難になり、また長期化する中で、当活動を通じてスポーツチームと連携し、より多くの長期療養中の子どもたちの青春を実現する機会を創出して参ります。

入団式の開催概要

- 【場所】 慶應義塾大学 下田グラウンド
(住所: 神奈川県横浜市港北区下田町 2-14-5)
URL: <http://baseball.sfc.keio.ac.jp/field/keio/>
*当日は会場の都合上、車でのご来場はお控えください。
- 【日時】 2020年8月4日(火曜) 11:30 - 13:00
報道関係者様 受付 11:15~@ 第一合宿所受付
- 【主催】 特定非営利活動法人 Being ALIVE Japan

入団記者会見登壇者

- 入団選手: 石岡 直歩(いしおか なおむ)くん 8歳、小学3年生
- 慶應義塾体育会野球部 部長 岡 浩太郎(おか こうたろう)
- 慶應義塾体育会野球部 監督 堀井 哲也(ほりい てつや)
- 慶應義塾体育会野球部 主将 瀬戸西 純(せとにし じゅん)

NEW TEAMMATE

入団選手について

- 石岡 直歩(いしおか なおむ)
- 年齢: 8歳 小学3年生
- 背番号: 1

直歩くんはポケモンが大好きで、体を動かすことが大好きな小学3年生です。プロ野球観戦も行ったことがあり、野球への関心はありますが、実際に野球をやることは今回初めての経験になります。お手伝いが大好きで、チームの一員として選手の力になれることを楽しみにしています。

直歩くんは保育園の年長児に病気を発症し、小学校入学後、数ヶ月間ほど、入院治療をしていました。現在も継続的に骨に荷重をかけないよう補装具をつけながら日常・学校生活を送っています。



■ 長期療養中の退院・復学支援とは

難病や慢性疾患等、長期療養を必要とするお子さんは全国約 25 万人います。医学の進歩により救命率の向上や入院期間の短縮化がされた一方、多くのお子さんが定期的な通院や治療を必要としながら、学校や地域社会の中で生活を送っています。国では年間約9億円をかけて、長期療養を必要とするお子さんへの自立できる支援をしています。こうしたお子さんが社会の中で多様な経験と交流を得て、自立できる機会がまだ十分とは言えません。

長期療養により、体力の低下や外見の変化、友人との関係が希薄な状態の入院生活から、学校や日常生活に戻る退院・復学の過程はお子さんにとって大きなチャレンジです。当事業は入院を経て退院後も長期療養を必要とするお子さんの学校や日常生活に戻る過程の中を支援しています。スポーツチームへの入団と活動を通じて、長期療養中のお子さんの自立支援、および長い療養生活を支え応援してくれるコミュニティを創出する支援をしています。



入団式スケジュール

11:15 -	報道関係者様・招待客の皆様 受付開始@第一合宿所
11:20 - 11:30	報道関係者様への事前説明会 @第一合宿所
11:30 -	お子さんの入室
11:30 - 11:40	お子さんの入団契約書の署名@第一合宿所
11:40 - 11:50	下田グラウンドへの移動
11:50 - 12:00	Being ALIVE Japan よりチーム・選手への活動説明
12:00 - 12:01	入団選手のグラウンドに入場
12:01 - 12:04	部長挨拶
12:04 - 12:07	監督挨拶
12:07 - 12:12	ユニフォーム贈呈と写真撮影(監督・石岡君・プロジェクトメンバー)
12:12 - 12:30	入団選手の自己紹介/レクリエーション
12:30 - 12:35	入団選手とチームとの写真撮影
12:35 - 12:45	入団選手の退場(第1合宿所に移動)
12:50 - 13:00	入団会見(お子様・ご家族・主催団体・監督・部長・主将)@第一合宿所

※ハイライト部分が撮影ポイントになります。

入団式の取材に関して

石岡直歩くんの慶應義塾体育会野球部への入団は、NPO 法人 Being ALIVE Japan が企画・運営する「長期療養児とスポーツチームのマッチング事業 (TEAMMATES、チームメイツ)」を通して実現しました。

(1) 入団式の取材に際しまして感染防止のご協力

新型コロナウイルスの流行に伴いまして、下記をお願いがございます。

- ・ 取材時には必ず手洗い(またはアルコール消毒)、マスクのご着用をお願い申し上げます。
- ・ ソーシャルディスタンス(最低1m以上)を保ちお子さん・ご家族・関係者への取材・撮影をお願いします。
- ・ 取材当日、団体が実施する事前説明にご参加いただき、ガイドラインに基づき、取材・撮影をお願い申し上げます。
- ・ 緊急事態宣言が再度発令した際は、また新型コロナウイルスの感染状況によっては、入団式中止する可能性がありますこと、ご理解とご了承をお願い致します。

(2) 掲載可能な情報に関して

記事作成時に掲載可能な情報は、名前、在住する地域(東京都)、年齢、性別、病名、病気の概要説明、入団式の写真となります。※ ご本人とご家族の希望で小学校名は開示致しません。

(4) 病気に関して

石岡くんの病気に関して記載される場合は、「ペルテス病」であり、病気の説明は下記のように記載をお願い致します。
「股関節の部分に何らかの理由で毛流が途絶え、骨が壊死し潰れる病気」 難病という用語を使用しないよう、お願い申し上げます。 病気や療養生活に焦点を当てた記事はお断りさせて頂いております。

(5) 表現で配慮していただきたいこと

下記の表現を控えていただけるよう、お願い致します。

- A. 病気を抱える(×) → 病気のある(○)

【理由】病気はお子さんが自ら望んでもったり、抱えている訳ではないため。

- B. 重い病気や苦しみから解放(×) → 重いや苦しみの否定的/消極的な表現を控える

【理由】お子さんやご家族が病気自体を重いもの、また苦しいと考えていない可能性があるため。

石岡直歩くん本人とご家族への直接取材に関して【事前申込必須】

入団式中、石岡直歩くんの心理的ストレスを配慮し、直接、質問することをお控えください。

石岡くんやご家族への直接取材は、入団式後に 10-15 分程度行います。直接取材時には、石岡くん本人およびご家族への病気や治療状況に関するご質問は控えていただき、当団体にお問い合わせいただけるよう、お願い致します。

直接取材を希望される場合は、事前にお問い合わせ(メールもしくは電話)いただけますよう、お願い致します。事前申請のない当日の取材依頼はお断り致します。

今後の活動スケジュール

石岡くんは約 10 か月間慶應義塾体育会野球部に所属し、チームの一員として数週間に 1 回、練習参加や試合会場でのスタッフサポート等の活動を行います。当事業をご取材いただける場合は、下記問い合わせ先にメール、またはお電話でご連絡いただけますようお願い申し上げます。

■ TEAMMATES 事業概要

TEAMMATES事業は米国非営利団体Team IMPACTの事業(大学スポーツチームと慢性疾患のあるこどものマッチング事業)を参考に開発されています。こどもはチームの一員として入団し、練習参加や試合会場でのサポート等、定期的にチーム活動に参加しチームメンバーとの関係構築をします。チームとの繋がりと経験は、長期治療を必要とすることもとって「青春」の1ページとなり、生活の質の向上(QOL)に繋がります。このようにスポーツを通して、入院を終え、社会への復学をする長期治療中のお子さんの心理面および社会面を支援することは国内でも新しい取り組みです。



<http://www.beingalivejapan.org/teammates/>

「TEAMMATES 事業」が HEROs AWARD of the year(最優秀賞)2018 受賞！

「スポーツの力を活かした、ソーシャルイノベーションの推進」する活動を表彰する

HEROs AWARD 2018 の受賞。

2018 年 12 月 17 日、ランドハイアット東京にて開催されました日本財団が主催する「スポーツの力を活かした、ソーシャルイノベーションの推進」する活動を表彰する HEROs AWARD で HEROs of the year(最優秀賞)を受賞致しました。

https://award.sportsmanship-heros.jp/2018winners_6.html



<参考資料>

■特定非営利活動法人 Being ALIVE Japan

2015年4月より、入院中の子ども向けのスポーツ活動の提供をはじめ、2016年2月に特定非営利法人化。難病や慢性疾患、長期的に治療・療養を必要とする子どもの青春と自立を支援することを目的に、地元アスリートやスポーツチームと連携し、子どもたちとご家族を支え応援する存在「TEAMMATES」を地域社会に増やす活動をしています。現在までにスポーツチームとのマッチング事業「TEAMMATES」、病院・地域の中で長期療養児のスポーツ活動の提供と普及をしています。また新型コロナウイルス感染拡大により、家族との面会や外出制限がある入院中の子どもたち、また自宅療養中の子どもたちの「ヒト」「社会」との接点をつくる「長期療養児とアスリートが交流するオンライン事業」を6月に本格的に開始しています。

■慶應義塾体育会野球部概要

1888年の創部以来、「文武両道」の精神と「エンジョイベースボール」という慶應野球の真髄のもと、学生野球の雄として野球界の発展に寄与してきました。東京六大学野球 2019 秋季リーグ戦では 3 季ぶりに優勝を果たし、19 年ぶりの日本一を達成しました。昨年は植田将太(千葉ロッテマリーンズ)、郡司裕也(中日ドラゴンズ)、津留崎大成(東北楽天ゴールデンイーグルス)、柳町達(福岡ソフトバンクホークス)の4名がドラフト指名を受けました。

<http://baseball.sfc.keio.ac.jp>

※本リリースは文部科学記者会、各社運動部、社会部、教育部、横浜支局等に送信させていただいております。

【報道関係者 お問合せ先】

特定非営利活動法人 Being ALIVE Japan 理事長 北野華子

〒154-0013 東京都世田谷区駒沢公園 1-1 Tote 駒沢公園 301

FAX : 03-6432-3068 Mobile : 080-3411-4210(北野)

Email: press@beingalivejapan.org

慶應義塾体育会野球部 マネージャー 伊豆野万琴

〒223-0064 神奈川県横浜市港北区下田町 2-14-5

TEL :045-563-2001

Email:keiobaseball@aol.com

【送付先】 特定非営利活動法人 Being ALIVE Japan

e-mail : press@beingalivejapan.org

FAX 番号 : 03-6432-3068

事前準備のため、ご多忙の折誠に恐れ入りますが 取材のお申し込みは 8月3日(月曜)正午までにメール、もしくはFAXにてご連絡くださいますよう、お願い申し上げます。

■日時 : 2020年8月4日(火曜)	11:30~
受付時間	11:20-
契約書署名	11:30 - 11:40
入団式	12:00 - 12:30
直接取材	12:50- 13:00
■会場 : 慶應義塾大学 下田グラウンド	

貴社名	
貴メディア名	
ご氏名	
同伴者名	
TEL :	
メール :	
取材方法 :	<input type="checkbox"/> ムービー <input type="checkbox"/> スチール <input type="checkbox"/> ペン
直接取材希望	<input type="checkbox"/> 入団選手・ご家族 <input type="checkbox"/> 慶應義塾体育会野球部 <input type="checkbox"/> 主催団体 Being ALIVE Japan
掲載予定日時	月 日 (曜日)
番組名/媒体名	